戸建住宅簡易計算シート

外皮性能

3 - 2 - 1
▼
か区分 1:木造 2:床断熱住戸(浴室基礎断熱)
2:RC 造等・S 造 3:床断熱住戸(外気等に接する浴室床なし) 4:基礎断熱住戸
Γ.

断熱構造による 住戸の種類	浴室の断熱構造	シート番号
	床断熱	3-2-1
床断熱住戸	基礎断熱	3-2-2
	外気等に接する浴室床なし	3-2-3
基礎断熱住戸	-	3-2-4

	一	王 工 -			シート			
			外皮性	能				
物件名								
<u>住所</u>								
作成者								
地域の区分		3 地域						
構造		□ R	C造等	□ S 造	<u> </u>			
断熱構造による住	戸の種類	床断熱	 快住戸					
浴室の断熱構造		床断熱	対					
部位の断熱工法の	屋根							
品位の断点エグの 組合せ [※]	外壁							
	床							
RC 造等の場合は、「外圏	「熱」「内断熱」「外断	熱+内断熱	熟」のうち該当	当する断熱	工法を記入する。			
ᄱᆸᇎ ᄱᆸᇎ ᄊᆸᇎ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ ᄊᆸ								
外皮平均熱貫流達		/+ 執貫 ³	充家が最ます	€か仕様 <i>σ</i>			対値を記入して が単位住戸のは	
に 0.02 を乗じた数値以						心。如何	// 一 四日/ 0//	
ここのとで不した数値以		2 07 IT 13 C	対象外とする		C 0°			
			係数		熱貫流率U		結果	_
	, C 6 0·20日16日10/1	S 07 IT 18 2	係数 0.194	×[] = [結果	_
屋根又は天井	一般部	2007 IT 137 C	係数	— r] = [結果	_
屋根又は天井		2007 II 137 C	係数 0.194	×			結果	(2
屋根又は天井 小壁	一般部	70 IT 18 C	係数 0.194 0.489	×]=	結果	(2
屋根又は天井 小壁	一般部 基礎壁(玄関)		係数 0.194 0.489 0.004	× × ×]	結果	(2)
屋根又は天井 小壁 末	一般部 基礎壁(玄関) 浴室		係数 0.194 0.489 0.004 0.009	× × × ×		= -	結果	(2 (3 (4 (5
屋根又は天井 外壁 末 窓	一般部 基礎壁(玄関) 浴室		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121	× × × × × ×			結果	(2) (3) (4) (5) (6)
屋根又は天井 外壁 末 窓	一般部 基礎壁(玄関) 浴室		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014	× × × × × × × ×	熱貫流率U		小数点第4位以下	(2) (3) (4) (5) (6) (7)
屋根又は天井 外壁 末 窓 ドア	一般部 基礎壁(玄関) 浴室 その他の床		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014			=		(2) (3) (4) (5) (6) (7)
屋根又は天井 外壁 末 窓 ドア	一般部 基礎壁(玄関) 浴室		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014	× × × × × × × ×	熱貫流率U		小数点第4位以下	(8)
屋根又は天井 小壁 末 窓	一般部 基礎壁(玄関) 浴室 その他の床		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014 係数 0.021		熱貫流率U		小数点第4位以下 結果 小数点第4位以下	(2 (3 (4 (5 (6 (7 下を切り上
屋根又は天井 小壁 末 窓	一般部 基礎壁(玄関) 浴室 その他の床		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014		熱貫流率U		小数点第4位以下 結果	(2 (3 (4 (5 (6 (7 下を切り上
屋根又は天井 小壁 末 窓	一般部 基礎壁(玄関) 浴室 その他の床 玄関等		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014 係数 0.021		熱貫流率U		小数点第4位以下 結果 小数点第4位以下	(2 (3 (4 (5 (6 (7 下を切り上 (8
屋根又は天井 小壁 末 窓 ドア 土間床等の外周部	一般部 基礎壁(玄関) 浴室 その他の床 玄関等		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014 係数 0.021		熱貫流率U		小数点第4位以下 結果 小数点第4位以下	(2 (3 (4 (5 (6 (7 を切り上 (8 (8 (9 (10
屋根又は天井 小壁 末 窓 ドア 土間床等の外周部	一般部 基礎壁(玄関) 浴室 その他の床 玄関等 屋根又は天井 壁		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014 係数 0.021 係数 0.059 0.135		熱貫流率U		小数点第4位以下 結果 小数点第4位以下	(2 (3 (4 (5 (6 (7 下を切り上 (8 下を切り上) (9 (10 (11
屋根又は天井 外壁 末 窓 ドア	一般部 基礎壁(玄関) 浴室 その他の床 玄関等 屋根又は天井 壁 床		係数 0.194 0.489 0.004 0.009 0.121 0.107 0.014 係数 0.021 係数 0.059 0.135 0.051		熱貫流率U		小数点第4位以下 結果 小数点第4位以下	(2) (3) (4) (5) (6) (7) 下を切り上

※小数点第3位以下を切り上げ(基準値:0.56 [W/(m²·K)]以下であれば適合)

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数		熱貫流率 U		結果	
屋根又は天井		0.659	×		=		(15)
	一般部	0.765	×		=		(16)
外壁	基礎壁(玄関)	0.004	×		=		(17)
ドア		0.020	×		=		(18)
			_			↑小数点第4位以下をも	刃り上げ
		係数	_ =	直面日射熱取得率η	i	結果	
窓		4.710	×		=		(19)
						↑小数点第4位以下をも	刃り上げ
		係数		線熱貫流率 ψ		結果	
	屋根又は天井	0.200	×		=		(20)
	壁	0.225	×		=		(21)
熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.531	×		=		(22)
	壁と壁	0.199	×		=		(23)
	壁と床	0.085	×		=		(24)
	•	•	_			↑小数点第4位以下をは	刃り上げ

※RC 造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} [-] (15) \sim (24)の合計

(15)~(24)の合計 =

※小数点第2位以下を切り上げ(基準値:なし)

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数		熱貫流率 U	_	結果	•
屋根又は天井		0.658	×		=		(25)
/N EX	一般部	0.876	×		=		(26)
外壁	基礎壁(玄関)	0.002	×		=		(27)
ドア		0.015	×		=		(28)
		•			•	↑小数点第4位以下を	■ 切り捨て
		係数	垂	直面日射熱取得率	1a	結果	
窓		4.635	×		=		(29)
		•			-	↑小数点第4位以下を	切り捨て
		係数		線熱貫流率 ψ	_	結果	_,
	屋根又は天井	0.199	×		=		(30)
	壁	0.286	×		=		(31)
熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.536	×		=		(32)
	壁と壁	0.212	×] =		(33)
	壁と床	0.102	×] =		(34)
•					•	↑小数点第4位以下を	加口やテ

※RC 造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「O」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH} [-] (25) \sim (34)の合計

(25)~(34)の合計 =

作成年月日	20	年	月	日
-------	----	---	---	---

		ᆂᆣᅸ	<u>기 </u>		シート			
			71及13	月巳				
物件名								
住所								
作成者								
地域の区分		3 地域						
構造		□ RC	造等	□ S 造	<u> </u>			
断熱構造による住	戸の種類	床断熱						
浴室の断熱構造		基礎断	·熱					
部位の断熱工法の	屋根							
組合せ [※]	外壁							
WDO MET - ID A Film	床		1 -1					
※RC 造等の場合は、「外圏	断熱」「内断熱」「外断	熱十内断熱	』のうち該旨	当する断熱	工法を記入する。			
外皮平均熱貫流	率 IJ。				※ 下 記 <i>←</i>	大协内口物	(値を記入してく	/ ださい
· 一つの部位に複数の異な	なる仕様を有する場合				熱貫流率とする。			
に 0.02 を乗じた数値以	下となる場合は当該窓	Kの仕様を対		ことができ			4 + ⊞	
			係数 0.192	×	熱貫流率U	1 = F	結果	(1)
产限入16人月	一般部		0.482	$\dashv \hat{\ } \mid$		1 <u>-</u>		$\begin{array}{c} (1) \\ (2) \end{array}$
外壁	基礎壁(玄関)		0.004	$- \hat{x} $		1 = -		$\begin{array}{c} (2) \\ (3) \end{array}$
ハエ	基礎壁(浴室)		0.012	$- \hat{x} $		┨₌┢		$-\frac{(3)}{(4)}$
								(1)
#	その他の床			-		1 _		(5)
宏	その他の床		0.119	×		=		(5) (6)
窓	その他の床		0.119 0.105	× ×]		(6)
	その他の床		0.119	×		= =	·数点第4位以下	(6) (7)
窓	その他の床		0.119 0.105	× ×	線熱貫流率ψ	= =	、数点第4位以下 結果	(6) (7)
窓 ドア	その他の床 玄関等		0.119 0.105 0.014	× ×	線熱貫流率ψ	= =		(6) (7)
窓			0.119 0.105 0.014 係数	×	線熱貫流率ψ	=		(6) (7) を切り上げ
窓 ドア	玄関等		0.119 0.105 0.014 係数 0.021	× × ×	線熱貫流率ψ	=		(6) (7) を切り上げ (8) (9)
窓 ドア	玄関等		0.119 0.105 0.014 係数 0.021 0.024	× × ×	線熱貫流率ψ 線熱貫流率ψ	=	結果	(6) (7) を切り上げ (8) (9) を切り上げ
窓 ドア	玄関等 浴室 屋根又は天井		0.119 0.105 0.014 係数 0.021 0.024 係数 0.058	× × ×		=	結果 数点第4位以下	(6) (7) を切り上げ (8) (9) を切り上げ
窓 ドア	玄関等		0.119 0.105 0.014 係数 0.021 0.024	× × × × ×			結果 数点第4位以下	(6) (7) を切り上げ (8) (9) を切り上げ
窓ドア 土間床等の外周部	玄関等 浴室 屋根又は天井		0.119 0.105 0.014 係数 0.021 0.024 係数 0.058				結果 数点第4位以下	(6) (7) を切り上げ (8) (9) を切り上げ (10) (11) (12)
窓 ドア	玄関等 浴室 屋根又は天井 壁	壁	0.119 0.105 0.014 係数 0.021 0.024 係数 0.058				結果 数点第4位以下	(6) (7) を切り上げ (8) (9) を切り上げ (10) (11) (12)
窓ドア 土間床等の外周部	玄関等 浴室 屋根又は天井 壁 床	壁	0.119 0.105 0.014 係数 0.021 0.024 係数 0.058 0.134 0.051				結果 数点第4位以下	(6) (7) を切り上げ (8) (9) を切り上げ (10) (11)
窓ドア 土間床等の外周部	玄関等 浴室 屋根又は天井 壁 床 屋根又は天井と	壁	0.119 0.105 0.014 係数 0.021 0.024 係数 0.058 0.134 0.051 0.214				結果 数点第4位以下	(6) (7) を切り上げ (8) (9) を切り上げ (10) (11) (12) (13) (14) (15)

※小数点第3位以下を切り上げ(基準値:0.56 [W/(㎡·K)]以下であれば適合)

シート番号: 3-2-2

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

红 田

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

区粉

劫鲁法家*II*

		徐		烈員流率U	_		_
屋根又は天井		0.650	×		=		(16)
	一般部	0.754	×		=		(17)
外壁	基礎壁(玄関)	0.004	×		=		(18)
	基礎壁(浴室)	0.010	×		=		(19)
ドア		0.019	×		=		(20)
						↑小数点第4位以下を	切り上げ
		係数	<u></u>	$oldsymbol{E}$ 直面日射熱取得率 $oldsymbol{\eta}_d$		結果	_
窓		4.645	×		=		(21)
						↑小数点第4位以下を	切り上げ
		係数	_	線熱貫流率ψ		結果	_
	屋根又は天井	0.197	×		=		(22)
	壁	0.222	×		=		(23)
熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.524	×		=		(24)
	壁と壁	0.197	×		=		(25)
	壁と床	0.084	×		=		(26)
		•	_			↑小数点第4位以下を	切り上げ

※RC 造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} [-]	鼻率 η₄。 [−]	ⅰ房期の平均日射熱
------------------------------	------------	-----------

(16)~(26)の合計	=	
--------------	---	--

※小数点第2位以下を切り上げ(基準値:なし)

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

小壁 基礎壁 (玄関) 0.002 = (28) 基礎壁 (浴室) 0.008 × = (30) ドア 0.015 × = (31) 係数 垂直面日射熱取得率η _d 結果 (32) 体数 線熱貫流率ψ 結果 屋根又は天井 0.196 × = (33) 壁 0.282 × = (34)			係数		熱貰流率 U	_	結果	
基礎壁 (玄関)	屋根又は天井		0.649	×		=		(27)
基礎壁(浴室) 0.008 × = (30) ドア 0.015 × = (31) ↑小教点第4位以下を切り捨て 経果 ※ 4.572 × = (32) ↑小教点第4位以下を切り捨て 経果 ※ 線熱貫流率ψ 結果 ※ 線熱貫流率ψ 結果 ※ (32) ↑小教点第4位以下を切り捨て が (33) を 0.282 × = (33) を 0.282 × = (34) を 0.282 × = (35) を 0.209 × = (36) を と床 0.101 × = (37)		一般部	0.864	×		=		(28)
ドア 0.015 × = (31)	外壁	基礎壁(玄関)	0.002	×		=		(29)
係数 垂直面日射熱取得率η _d 結果 (32)		基礎壁(浴室)	0.008	×		=		(30)
孫数 垂直面日射熱取得率η _d 結果 (32) イル教点第4位以下を切り捨て 係数 線熱貫流率ψ 結果 (33) 壁根又は天井 0.196 × = (33) 壁 0.282 × = (34) 屋根又は天井と壁 0.529 × = (35) 壁と壁 0.209 × = (36) 壁と床 0.101 × ー (37)	ドア		0.015	×		=		(31)
(32)							↑小数点第4位以下を	切り捨て
係数 線熱貫流率ψ 1・			係数	_ #	$oldsymbol{\epsilon}$ 直面日射熱取得率 η	d	結果	_
操機	窓		4.572	×		=		(32)
屋根又は天井 0.196 × = (33) 壁 0.282 × = (34) 屋根又は天井と壁 0.529 × = (35) 壁と壁 0.209 × = (36) 壁と床 0.101 × = (37)							↑小数点第4位以下を	切り捨て
壁 0.282 × = (34) 屋根又は天井と壁 0.529 × = (35) 壁と壁 0.209 × = (36) 壁と床 0.101 × = (37)	-		係数		線熱貫流率ψ		結果	-
整を壁 0.529 × = (35) 壁と壁 0.209 × = (36) 壁と床 0.101 × = (37)		屋根又は天井	0.196	×		=		(33)
壁と壁 0.209 × = (36) 壁と床 0.101 × = (17) ↑小数点第4位以下を切り捨て		壁	0.282	×		=		(34)
壁と床 0.101 × = (37) ↑小数点第4位以下を切り捨て	熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.529	×		=		(35)
↑小数点第4位以下を切り捨て		壁と壁	0.209	×		=		(36)
		壁と床	0.101	×		=		(37)
								切り捨て

※RC 造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH} [-]

(27)~(37)の合計 =

	戸領	聿付5	記簡易:	計算	シート		
	, ,	<u></u>	外皮性				
物件名							
住所							
作成者							
地域の区分		3 地域					
構造		□ R0	C 造等 (□ Sà	<u>告</u>		
断熱構造による住	戸の種類	床断熱	热住戸				
浴室の断熱構造		外気等	等に接する?	谷室床	なし		
部位の断熱工法の	屋根						
組合せ※	外壁						
	床						
※RC 造等の場合は、「外圏	「熱」「内断熱」「外断	熱十内断熱	熱」のうち該当	する断熱	熱工法を記入する。		
以中亚拉勒里达:	इंदर 11						
外皮平均熱貫流	**	は 熱雷	充率が最も大き	な什様の			値を記入してください。 が単位住戸の床面積の合詞
に 0.02 を乗じた数値以						心可阻戾心	中区区/ 0//K四区0/日
		+	係数		熱貫流率U	, ,	結果
屋根又は天井			0.194	×		↓ =	(1)
外壁	一般部		0.489	×] =	(2)
71-2	基礎壁(玄関)		0.004	×] =	(3)
床	その他の床		0.129	×] = [_	(4)
窓			0.107	×] = [_	(5)
ドア			0.014	×		=	(6)
						↑小	数点第4位以下を切り上げ
	→ BB //r		<u>係数</u>	$\exists \ \cup \ $	線熱貫流率ψ 	1 _ [結果 (7)
土間床等の外周部	玄関等		0.021	×] = <u> </u>	(7) 数点第4位以下を切り上げ
			係数		伯勒里 达玄小	1 /1	結果
	屋根又は天井		0.059	×	線熱貫流率ψ] = 厂	(8)
	壁		0.035	$\frac{1}{x}$		┪┋┝	(9)
	_ <u>室</u> 床		0.133	$ ^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{^{$		┨┋┝	(10)
熱橋 [※]		E 文				1	
	屋根又は天井と	- 笙	0.217	- ×		┨┋┠┈	(11)
	壁と壁	+	0.130	\dashv $\overset{\times}{}$		┨┋┝	(12)
	壁と床		0.106	×] = [(13)
※RC 造等は部位の断熱工法の)組合せにより熱橋が発生	とする構造熱	熱橋部が異なる 。	熱橋が発	生しない場合は「0」		数点第4位以下を切り上げ

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- 一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数		熱貫流率 U		結果	
屋根又は天井		0.659	×		=		(14)
	一般部	0.765	×		=		(15)
外壁	基礎壁(玄関)	0.004	×		=		(16)
ドア		0.020	×		=		(17)
		•		_	•	↑小数点第4位以下を	切り上げ
		係数	垂直	直面日射熱取得率 η_d	_	結果	_
窓		4.710	×		=		(18)
					•	↑小数点第4位以下を	切り上げ
		係数		線熱貫流率ψ	_	結果	_
	屋根又は天井	0.200	×		=		(19)
	壁	0.225	×		=		(20)
熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.531	×		=		(21)
	壁と壁	0.199	×		=		(22)
	壁と床	0.085	×		=		(23)
	-	•		_		↑小数点第4位以下を	• 切り上げ
※RC 造等は部位の断熱工法	の組合せにより熱橋が発生する構造	造熱橋部が異なる。 猿	熱橋が発生	しない場合は「0」を	記入す	-る。	

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} [-] (14) \sim (23)の合計

※小数点第2位以下を切り上げ(基準値:なし)

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数		熱貫流率U	_	結果	•
屋根又は天井		0.658	×		=		(24)
/N E호	一般部	0.876	×		=		(25)
外壁	基礎壁(玄関)	0.002	×		=		(26)
ドア	•	0.015	×		=		(27)
		•			4	↑小数点第4位以下を	切り捨て
		係数	垂	直面日射熱取得率	la	結果	
窓		4.635	×		=		(28)
		•				↑小数点第4位以下を	切り捨て
		係数		線熱貫流率 ψ	_	結果	_,
	屋根又は天井	0.199	×		=		(29)
	壁	0.286	×		=		(30)
熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.536	×		=		(31)
	壁と壁	0.212	×		=		(32)
	壁と床	0.102	×		=		(33)
N-	•	•			•	↑小数点第4位以下を	I T 11 + A

※RC 造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH} [-] (24) \sim (33)の合計

作成年月日	20	年	月	日

IF)戏牛万百 Z0	<u>+ л</u>		<u> </u>					
	戸建	住!	宅簡易	計算	シート			
		•	外皮性					
物件名								
住所								
作成者								
地域の区分		3 地均	 或					
構造		□ R	C 造等	□ S 近	±			
断熱構造による住	戸の種類	基礎	断熱住戸					
部位の断熱工法の	屋根							
副位の断熱工法の 組合せ [※]	外壁							
7E I C	床							
※RC 造等の場合は、「外圏	斯熱」「内断熱」「外断熱·	+内断	熱」のうち該	当する断熱	松工法を記入する。			
外皮平均熱貫流	蒸 11				\\\ T = 0 =	L-1-h	- <i>*</i> /++=> -	
・ 一つの部位に複数の異な		熱貫	流率が最も大	きな仕様の			上数値を記入して 積が単位住戸のF	
	下となる場合は当該窓の					70		
		-	係数		熱貫流率U		結果	_
屋根又は天井			0.185	×] = [(1)
	一般部		0.466	×		=		(2)
外壁	基礎壁(玄関)		0.003	×		=		(3)
	基礎壁(浴室・その)他)	0.051	×		=		(4)
窓			0.102	×		=		(5)
ドア			0.013	×		=		(6)
			i vici		/ /		↑小数点第4位以下	「を切り上げ
	玄関等		<u>係数</u> 0.012	×	線熱貫流率ψ	1 ₌ [結果	(7)
土間床等の外周部			0.101	$- \hat{x} $		┨╸╏		(8)
	冶主・ての他		0.101	^_			↑小数点第4位以下	
			係数		線熱貫流率ψ		結果	
	屋根又は天井		0.056	×	13/11/2/2010 1 4] = [19213	(9)
	壁		0.129	×		1 = 1		(10)
熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	<u> </u>	0.207	×		1 = 1		(11)
	壁と壁		0.124	×		1 = 1		(12)
	 壁と床		0.101	×		1 = 1		(13)
	/- A	= 120.00					↑小数点第4位以下	
※RC 造等は部位の断熱工法の	_		_			を記入す ┏	る。	_
外皮平均熱	貫流率 U_A [W/(m² · k			(13)の合計	= [W // 2 103: -	
			※小数	点第3位以一	下を切り上げ(基準値	: 0.56 [W/(m · K)]以下で	あれば適合)

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数		熱貫流率U	_	結果	
屋根又は天井		0.628	×		=		(14)
	一般部	0.728	×		=		(15)
外壁	基礎壁(玄関)	0.004	×		=		(16)
	基礎壁(浴室・その他)	0.081	×		=		(17)
ドア	ドア		×		=		(18)
						↑小数点第4位以下を	切り上げ
		係数		E直面日射熱取得率 η	d	結果	_
窓		4.484	×		=		(19)
						↑小数点第4位以下を	切り上げ
		係数		線熱貫流率ψ		結果	_
	屋根又は天井	0.190	×		=		(20)
	壁	0.215	×		=		(21)
熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.506	×		=		(22)
	壁と壁	0.190	×		=		(23)
	壁と床	0.162	×		=		(24)
	<u> </u>					↑小数点第4位以下を	.tπu ⊢ı#

※RC 造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC}	Γ–	
11 00 1 00 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	-

※小数点第2位以下を切り上げ(基準値:なし)

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH}

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の 床面積の合計に 0.04 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数		熱貫流率U		結果	_
屋根又は天井		0.627	×		=		(25)
	一般部	0.834	×		=		(26)
外壁	基礎壁(玄関)	0.002	×		=		(27)
	基礎壁(浴室・その他)	0.097	×		=		(28)
ドア	ドア		×		=		(29)
						↑小数点第4位以下を	切り捨て
		係数	垂	直面日射熱取得率η	d	結果	_
窓	窓		×		=		(30)
						↑小数点第4位以下を	切り捨て
		係数		線熱貫流率 ψ		結果	
	屋根又は天井	0.189	×		=		(31)
	壁	0.272	×		=		(32)
· 熱橋 [※]	屋根又は天井と壁	0.510	×		=		(33)
	壁と壁	0.201	×		=		(34)
	壁と床	0.195	×		=		(35)
			_			↑小数点第4位以下を	■ 切り捨て

※RC 造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH} [-]

(25)~(35)の合計 =